

# 2024年度第3四半期決算の概要及び 2024年度業績予想の概要

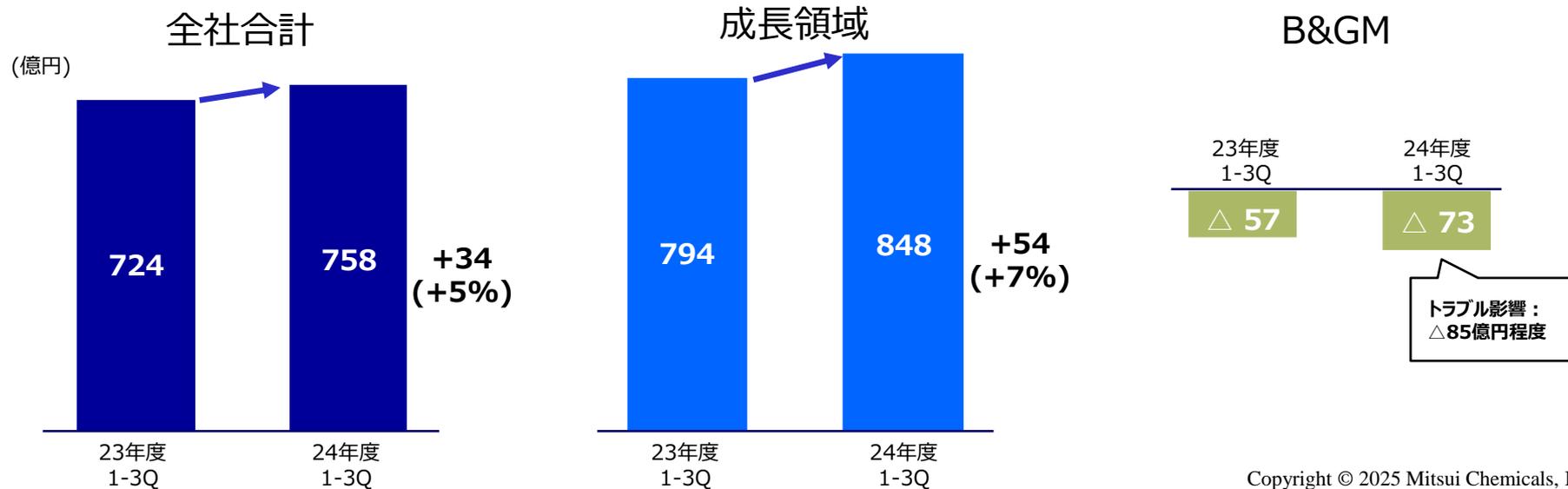
三井化学株式会社

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2025年2月4日

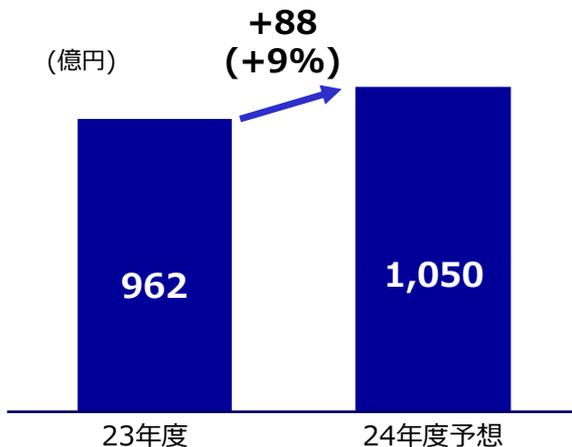
- 全社のコア営業利益は、前年比+34億円（+5%）の増益。
  - 成長領域の販売数量は全般的に堅調に推移、また交易条件は為替を中心に改善し、+54億円（+7%）の増益。
  - ベーシック&グリーン・マテリアルズは値上げおよび事業構造改善を進めているものの、エチレンプラントトラブル影響（△85億円程度）により減益。

## ■ コア営業利益（全社・領域別）

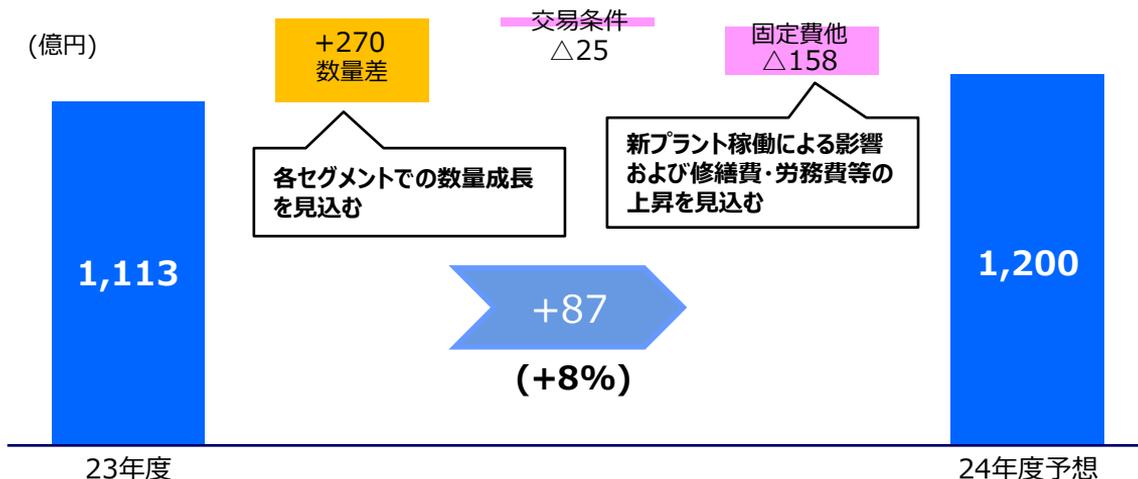


- 全社のコア営業利益は、様々な環境変化や為替の変動はあるものの、前回予想から変更なく前年比88億円（+9%）増益の1,050億円を見込む。
- 成長領域は、主に販売数量の増加により、前年比87億円（+8%）増益の1,200億円を見込む。
  - ・ ライフ&ヘルスケアはビジョンケア・農薬を中心に堅調、モビリティは自動車用途堅調および多用途展開の進展、ICTは市場の回復に伴い、各セグメントでの販売増加を見込む。
- 還元については、対前年10円/株増配の年間150円/株に加え、第3四半期に100億円の自己株式取得を実施。

## ■ コア営業利益（全社）



## ■ コア営業利益増減（成長領域）



# 目次

1. 2024年度第3四半期決算の概要	
1) 主要関連市場動向	…1
2) 主な投資案件等の状況	…2
3) 第3四半期決算の概要	…3-4
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減（対前年同期）	…5
5) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年同期）	…6-9
6) 非経常項目の内訳	…10
7) 財政状態計算書	…11
8) キャッシュ・フロー計算書	…12
2. 2024年度業績予想の概要	
1) 業績予想の概要	…13-14
2) セグメント別 売上収益/コア営業利益予想（対前年）	…15
3) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年）	…16-19
4) セグメント別 コア営業利益増減（3Q→4Q）	…20
5) キャッシュ・フロー計算書の予想	…21
3. 補助資料	…22-27

# 1. 2024年度第3四半期決算の概要

24年度より、本州化学工業(株)他、ICTソリューションおよびベーシック&グリーン・マテリアルズの一部の関係会社の帰属セグメントを見直しております。23年度のセグメントも、変更後の報告セグメント区分に基づき作成しております。

# 1) 主要関連市場動向

関連市場		24年度		3Q ⇒ 4Q	24年度下期予想 (対11/7予想)
		3Q	4Q		
ライフ& ヘルスケア・ ソリューション	メガネレンズ市場	堅調に推移	堅調に推移	➡	変化なし
	農薬市場	一部在庫調整はあるも 堅調に推移	一部在庫調整は継続するも 堅調に推移	➡	変化なし
モビリティ ソリューション	自動車生産台数(世界) *			➡	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本</li> <li>北米</li> <li>中国</li> <li>ASEAN</li> <li>欧州</li> </ul>	中国を中心に増加するも、 他の地域では減少となり グローバルな生産台数は 前年並みに推移	季節性の影響はあるが、 3Qから引き続き グローバルな生産台数は 前年並みに推移	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡</li> <li>➡</li> <li>➡</li> <li>➡</li> <li>➡</li> </ul>	地域ごとの増減はあるも、 グローバルな生産台数に 大きな変化なし
ICT ソリューション	半導体市場	需要は緩やかな回復傾向	季節性の影響はあるが、 需要は緩やかな回復傾向	➡	需要は回復傾向も 回復は予想より鈍化
	スマートフォン市場	需要は緩やかな回復傾向	季節性の影響はあるが、 需要は緩やかな回復傾向	➡	需要は回復傾向も 回復は予想より鈍化
ベーシック& グリーン・ マテリアルズ	クラッカー稼働率	低稼働	低稼働	➡	変化なし

\* 外部機関参考による当社推定値

## 2) 主な投資案件等の状況

主な投資案件		時期	能力	FY22	FY23	FY24	FY25以降
ライフ & ハルスケア・ソリューション	メガネレンズ加工機メーカー買収	22年11月	-				
	不織布事業JV設立@Japan	23年10月	-				
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	24年1月	-				
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan 2025.01.15公表	28年度上期	-				
モビリティソリューション	タフマ <sup>®</sup> 新設@Singapore	24年度	120KT				
ICTソリューション	アベル <sup>®</sup> 新プラント@Japan	22年6月	+50%				
	ベリクル事業買収	23年7月	-				
	イクロステープ <sup>™</sup> 能力増強@Taiwan	24年6月	380万㎡				
	三井化学東セロの株式分割及び一部株式譲渡	24年4月	-				
	ポリウレタンディスパージョン(PUD)能力増強@Japan	25年6月	+100%				
	特殊イソシアネートXDI能力増強@Japan	25年9月	+20%				
	次世代EUV露光用CNTベリクル生産設備@Japan	25年12月	5千枚				
半導体実装領域における材料開発強化に向けた出資	24年度	-					
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年9月	200KT				
	高機能PP新設備@Japan	24年度	200KT				
	バイオマス原料調達拡大に向けた出資	22年6月	-				
新事業・新製品	PPG生産におけるLLP設立	23年5月	-				
	CVC設立	22年7月	-				

最適化・再構築	高純度テレフタル酸(PTA)生産停止@Japan	23年8月	400KT	生産停止			
	ポリエチレンテレフタレート(PET)の生産停止@Japan	24年10月	145KT		生産停止		
	TDI生産能力最適化@Japan	25年7月	120KT→50KT			生産能力最適化	
	市原フェノールの生産停止@Japan	26年度	190KT				生産停止
	千葉地区LLPエチレン装置集約による生産最適化の検討開始	27年度	-			検討開始	生産最適化
	フェノール子会社株式譲渡@Singapore	23年3月	-	株式譲渡			
	モビリティセグメント子会社株式譲渡@Japan(産業資材)	25年4月	-				株式譲渡

### 3-1) 第3四半期決算の概要

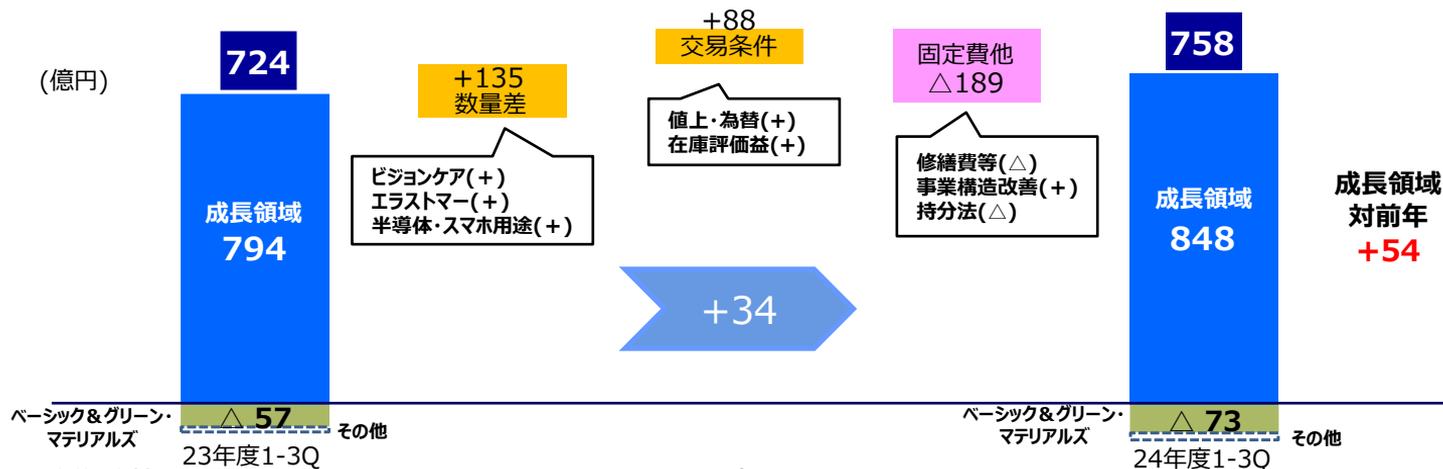
(単位：億円)

摘要	23年度 1-3Q決算	24年度 1-3Q決算	増減	増減率
売上収益	12,745	13,388	643	5%
コア営業利益	724	758	34	5%
(うち、持分法による投資損益)	101	88	△ 13	△13%
非経常項目	△ 124	△ 89	35	-
営業利益	600	669	69	12%
金融収益・費用	△ 8	△ 9	△ 1	-
税引前四半期利益	592	660	68	11%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	373	377	4	1%

為替レート(円/US\$)	143	153	+ 10
国産ナフサ(円/KL)	68,000	76,400	+ 8,400

### 3-2) 第3四半期決算の概要：コア営業利益（対前年同期）

項目	内容	損益増減
数量	・ビジョンケアは23年度在庫調整影響の解消により販売数量は増加。	(+)
	・自動車用途堅調および多用途展開によりエラストマーの販売数量は増加。	(+)
	・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の回復により販売数量は増加。	(+)
交易条件	・値上げ及び為替影響により交易条件は改善。	(+)
	・原料価格上昇に伴う在庫評価益。	(+)
固定費他	・人件費・資材費高騰による修繕費、研究開発等の資源投入によりコストは増加。	(△)
	・事業構造改善による収益改善。	(+)
	・持分法投資損益の減少。	(△)



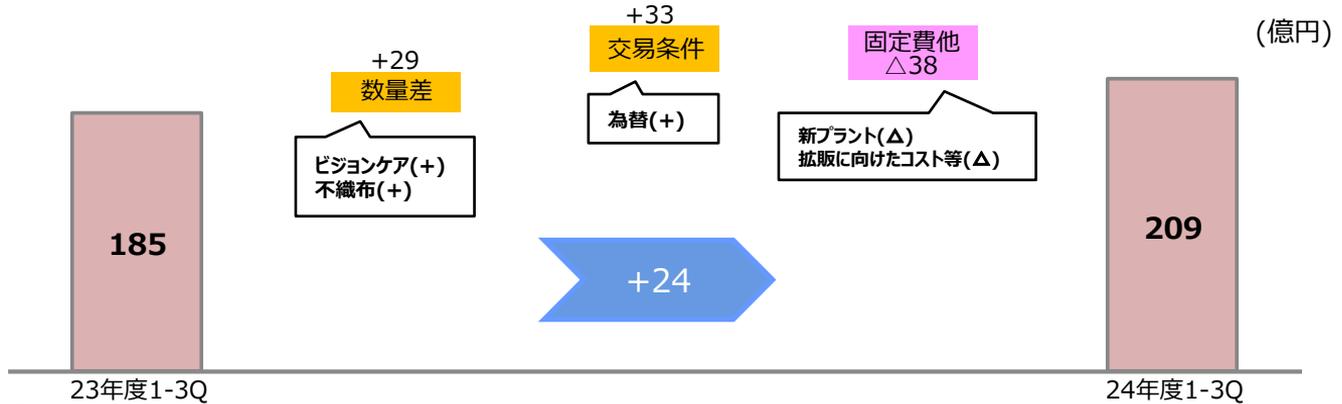
## 4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減 (対前年同期)

(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	23年度 1-3Q決算	24年度 1-3Q決算	増減	23年度 1-3Q決算	24年度 1-3Q決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	1,886	2,065	179	185	209	24	29	33	△ 38
モビリティソリューション	3,984	4,278	294	410	439	29	78	△ 14	△ 35
ICTソリューション	1,934	1,647	△ 287	199	200	1	52	8	△ 59
成長領域	7,804	7,990	186	794	848	54	159	27	△ 132
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	4,832	5,288	456	△ 57	△ 73	△ 16	△ 24	61	△ 53
その他	109	110	1	△ 13	△ 17	△ 4	-	-	△ 4
合計	12,745	13,388	643	724	758	34	135	88	△ 189

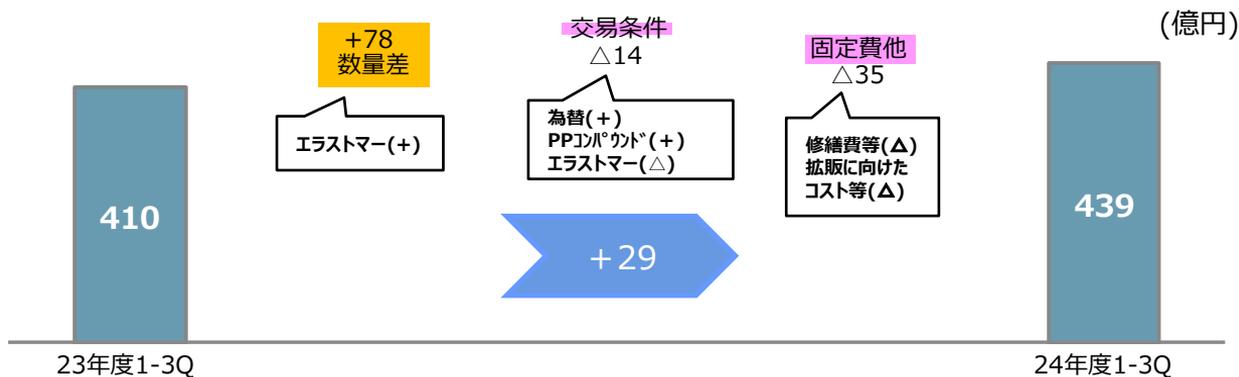
# 5-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度第3四半期決算/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度の在庫調整影響の解消による販売数量増加</li> <li>・新プラント稼働による固定費増加(MR™)</li> </ul>	数量(+) 固定費(△)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業統合による販売数量増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(△)
オーラルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は前年並みに推移</li> </ul>	-
農薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3Qから4Qへの出荷時期ずれの影響はあるものの販売は堅調に推移</li> <li>・円安による為替差益増加</li> <li>・拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費が増加</li> </ul>	為替(+) 固定費(△)



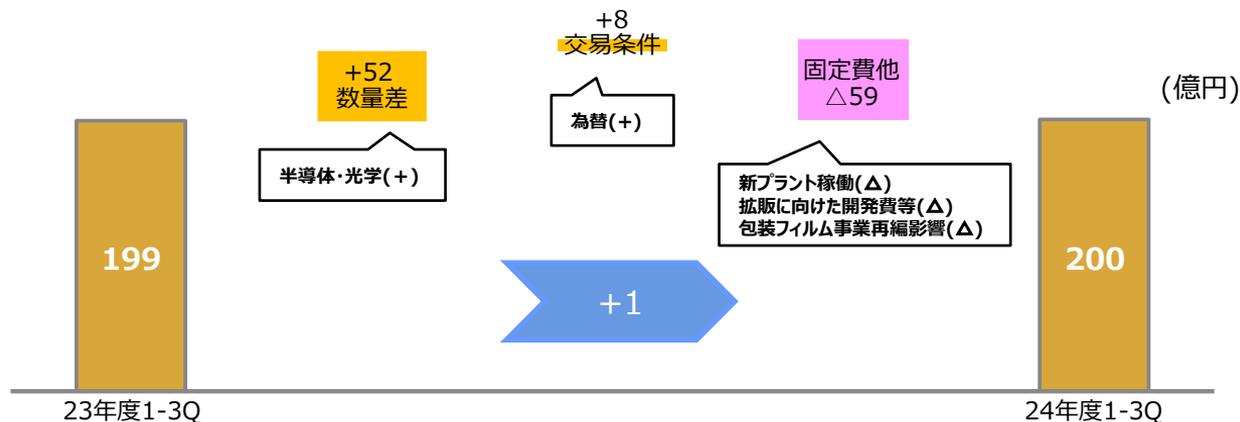
## 5-2) モビリティソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度第3四半期決算/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途を中心に販売数量増加</li> <li>成長市場への多用途展開による販売数量増加</li> <li>円安による為替差益増加</li> <li>一時的な需給緩和に伴う交易条件悪化</li> </ul>	数量(+) 為替(+) 交易条件(Δ) 固定費(Δ)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途関連の販売は前年並みに推移</li> <li>円安による為替差益増加</li> <li>価格改定による交易条件改善</li> </ul>	為替(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車市場回復に伴う受注増</li> <li>拡販に向けたコスト等の増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(Δ)



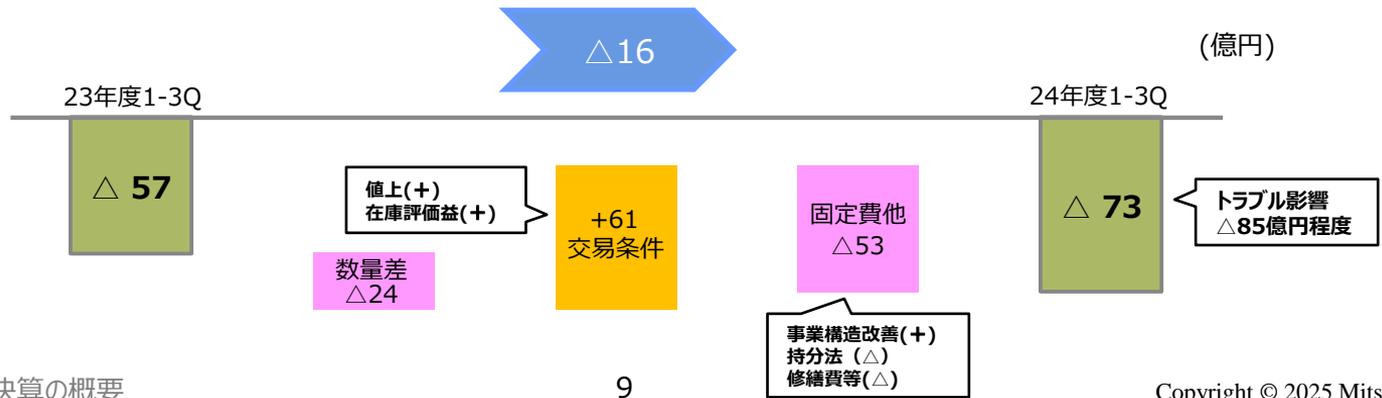
# 5-3) ICTソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度第3四半期決算/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体及びスマートフォン市場の需要回復による販売数量増加</li> <li>円安による為替差益増加</li> <li>拡販に向けたコスト等が増加</li> </ul>	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売は堅調に推移</li> <li>円安による為替差益増加</li> </ul>	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体市場の需要回復による販売数量増加</li> <li>円安による為替差益増加</li> <li>新プラント稼働により固定費増加(イクロステーブ™)</li> </ul>	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)



# 5-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度第3四半期決算/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> <li>値上げによる交易条件改善</li> <li>23年度の在庫評価損解消</li> <li>人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> </ul>	交易条件(+) 在庫(+) 固定費(Δ)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> <li>値上げによる交易条件改善</li> <li>23年度の在庫評価損解消</li> <li>事業構造改善による収益改善</li> <li>人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> <li>持分法投資損益の減少</li> </ul>	交易条件(+) 在庫(+) 構造改善(+) 固定費(Δ) 持分法(Δ)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> </ul>	固定費(Δ) 持分法(Δ)



## 6) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	23年度 1-3Q決算	24年度 1-3Q決算	増減
固定資産処分・売却損益	△ 13	△ 25	△ 12
減 損 損 失	△ 142	△ 65	77
そ の 他	31	1	△ 30
非経常項目 合計	△ 124	△ 89	35

# 7) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘 要	24年3月末	24年12月末	増減	摘 要	24年3月末	24年12月末	増減
流動資産	( 11,506 )	( 10,789 )	( △ 717 )	負債	( 12,310 )	( 11,751 )	( △ 559 )
現金及び 現金同等物	2,103	1,862	△ 241	営業債務	1,799	1,658	△ 141
営業債権	3,659	3,468	△ 191	有利子負債	8,115	7,764	△ 351
棚卸資産	4,511	4,602	91	その他	2,396	2,329	△ 67
その他	1,233	857	△ 376				
非流動資産	( 10,652 )	( 10,868 )	( 216 )	資本	( 9,848 )	( 9,906 )	( 58 )
有形固定資産及び 使用権資産	6,521	6,727	206	親会社の所有者に 帰属する持分	8,629	8,676	47
のれん及び 無形資産	764	836	72	非支配持分	1,219	1,230	11
非流動の その他の資産	3,367	3,305	△ 62				
合 計	22,158	21,657	△ 501	合 計	22,158	21,657	△ 501

## 8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	23年度 1-3Q決算	24年度 1-3Q決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,150	1,414	264
(うち運転資金)	7	78	71
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 698	△ 808	△ 110
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	452	606	154
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 237	△ 905	△ 668
IV. その他	68	58	△ 10
現金及び現金同等物増減	283	△ 241	△ 524

## 2. 2024年度業績予想の概要

・24年度より、本州化学工業(株)他、ICTソリューションおよびベーシック&グリーン・マテリアルズの一部の関係会社の帰属セグメントを見直しております。23年度のセグメントも、変更後の報告セグメント区分に基づき作成しております。

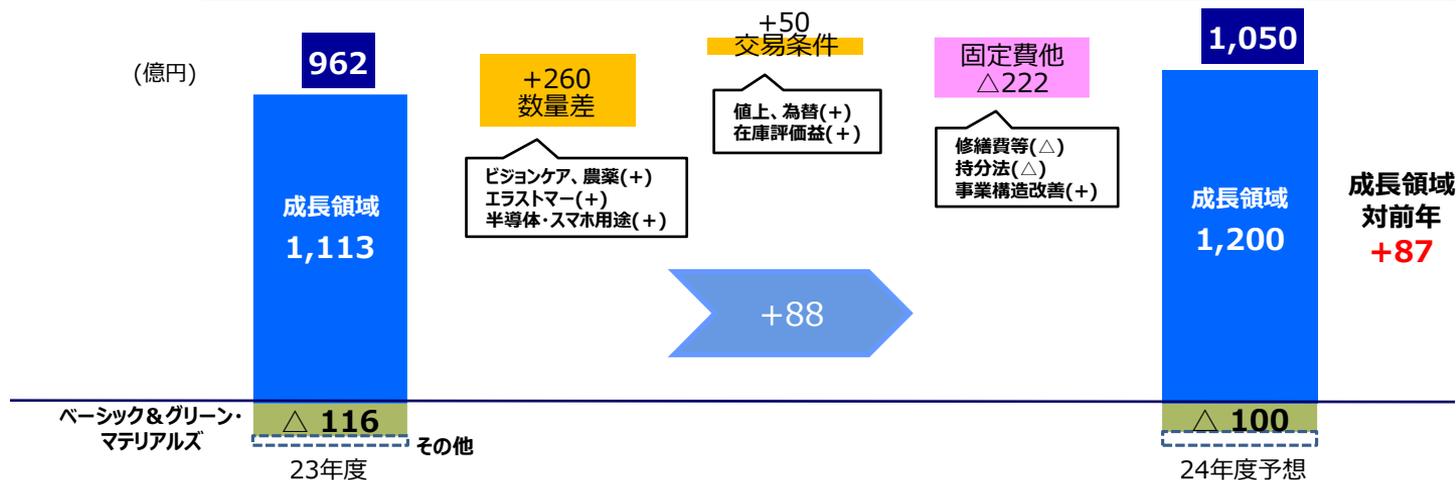
# 1 - 1) 業績予想の概要 (対前年)

(単位：億円)

摘要	23年度		24年度		増減	
	上期決算	年度決算 (a)	上期決算	年度予想 (b)	年度 (b)-(a)	%
売上収益	8,237	17,497	8,904	18,250	753	4%
コア営業利益	420	962	528	1,050	88	9%
非経常項目	△ 108	△ 221	△ 68	△ 110	111	—
営業利益	312	741	460	940	199	27%
金融収益・費用	18	△ 8	△ 52	△ 80	△ 72	—
税引前利益	330	733	408	860	127	17%
親会社の所有者に帰属する当期利益	207	500	222	560	60	12%
為替レート(円/US\$)	141	145	153	152	+ 7	
国産ナフサ(円/KL)	65,550	69,100	77,950	76,000	+ 6,900	
	中間	通期	中間	通期	増減	
配当	70 円/株	140 円/株	75 円/株	150 円/株	+10円/株	

# 1 - 2) 業績予想の概要 : コア営業利益 (対前年)

項目	内容	損益増減
数量	・ビジョンケアは23年度在庫調整影響の解消による販売数量増加を見込む。	(+)
	・農薬は海外での販売数量増加を見込む。	(+)
	・自動車用途堅調および多用途展開によりエラストマーの販売数量増加を見込む。	(+)
	・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の回復により販売数量増加見込む。	(+)
交易条件	・値上げ及び為替差による交易条件の改善を見込む。	(+)
	・一時的な需給緩和に伴う交易条件悪化を見込む。	(△)
	・原料価格上昇に伴う在庫評価益を見込む。	(+)
固定費他	・人件費・資材費高騰による修繕費、研究開発等の資源投入でコスト増加を見込む。	(△)
	・事業構造改善による収益改善を見込む。	(+)
	・持分法投資損益の減少。	(△)

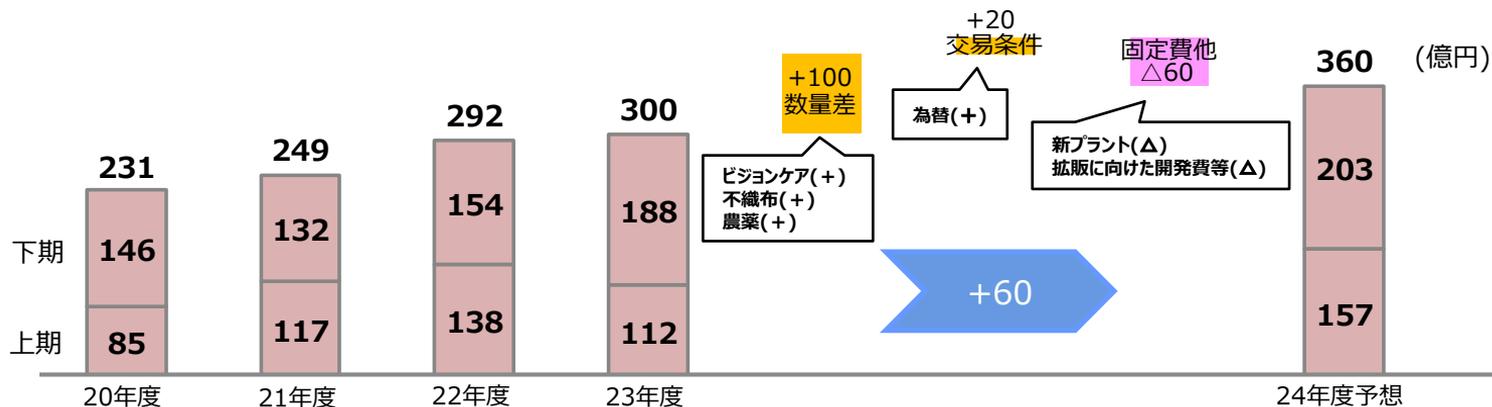


## 2) セグメント別 売上収益/コア営業利益予想 (対前年)

(単位：億円)

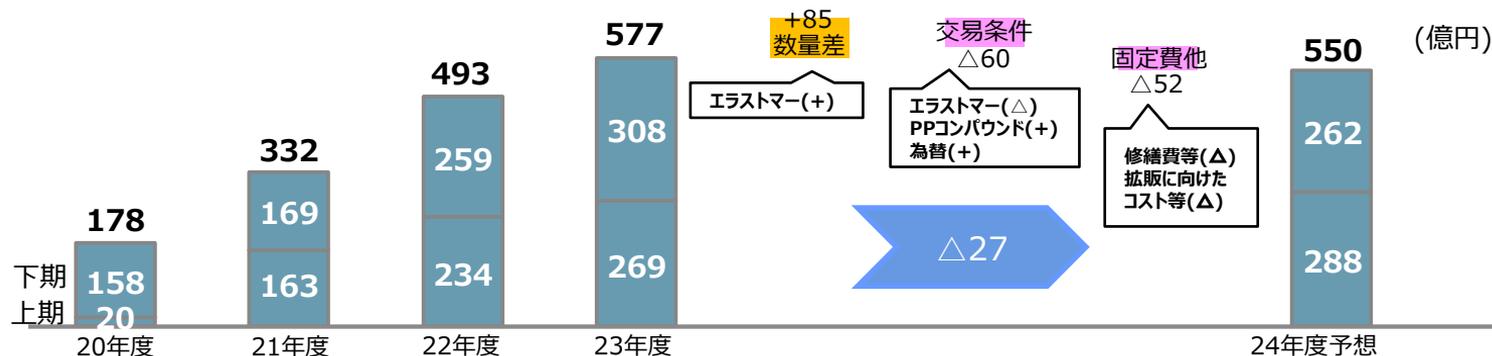
セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	23年度決算	24年度予想	増減	23年度決算	24年度予想	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ＆ヘルスケア・ソリューション	2,717	2,980	263	300	360	60	100	20	△ 60
モビリティソリューション	5,440	5,740	300	577	550	△ 27	85	△ 60	△ 52
ICソリューション	2,594	2,290	△ 304	236	290	54	85	15	△ 46
成長領域	10,751	11,010	259	1,113	1,200	87	270	△ 25	△ 158
ベーシック＆グリーン・マテリアルズ	6,599	7,100	501	△ 116	△ 100	16	△ 10	75	△ 49
その他	147	140	△ 7	△ 35	△ 50	△ 15	-	-	△ 15
合計	17,497	18,250	753	962	1,050	88	260	50	△ 222

	24年度予想/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度在庫調整の解消による販売数量増加</li> <li>・新プラント稼働による固定費増加(MR™)</li> </ul>	数量(+) 固定費(Δ)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業統合による販売数量増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(Δ)
オーラルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は前年並みに推移</li> </ul>	-
農薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部地域で在庫調整の動きが残るものの、販売は堅調に推移</li> <li>・円安による為替差益増加</li> <li>・拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費が増加</li> </ul>	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)

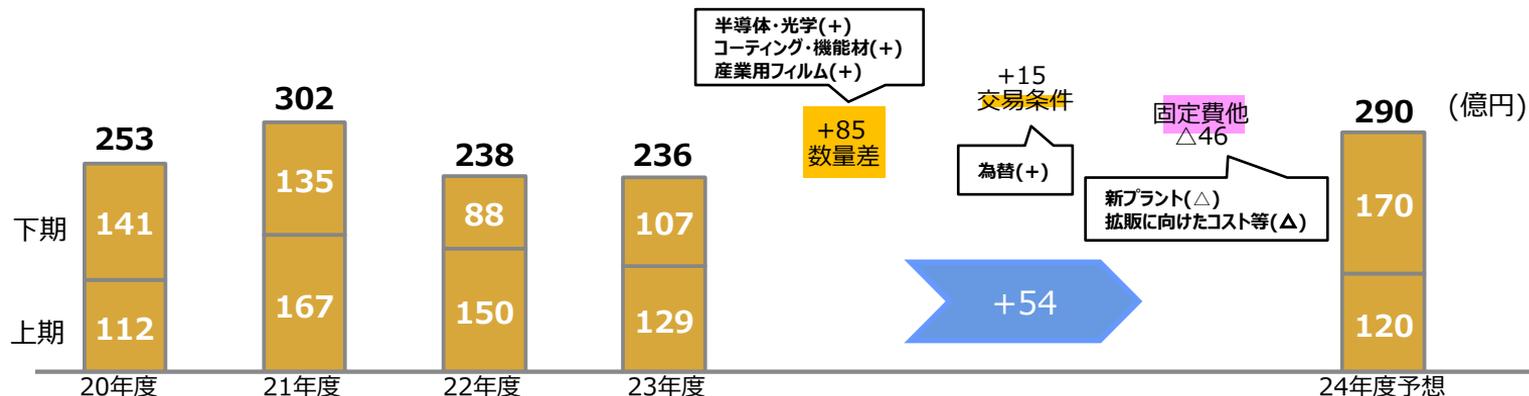


### 3-2) モビリティ・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

	24年度予想/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途を中心に販売数量増加</li> <li>成長市場への多用途展開による販売数量増加</li> <li>円安による為替差益増加</li> <li>一時的な需給緩和に伴う交易条件悪化</li> </ul>	数量(+) 為替(+) 交易条件(△) 固定費(△)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途関連の販売は前年並みに推移</li> <li>円安による為替差益増加</li> <li>価格改定による交易条件改善</li> </ul>	為替(+) 交易条件(+) 固定費(△)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車市場回復に伴う受注増</li> <li>拡販に向けたコスト等の増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(△)

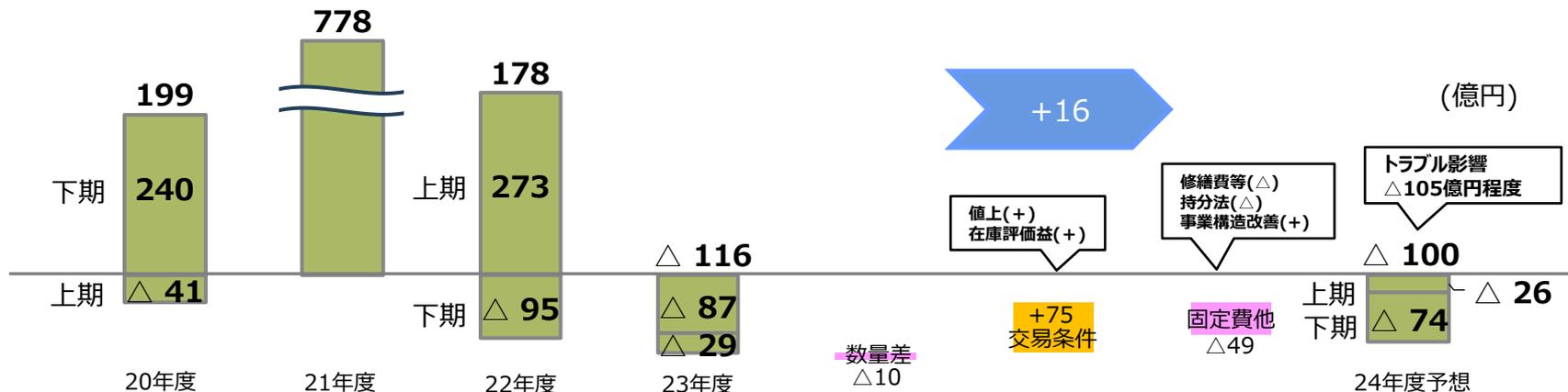


	24年度予想/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体及びスマートフォン市場の需要回復による販売数量増加</li> <li>円安による為替差益増加</li> <li>拡販に向けたコスト等が増加</li> </ul>	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売は堅調に推移</li> <li>円安による為替差益増加</li> </ul>	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体市場の需要回復による販売数量増加</li> <li>円安による為替差益増加</li> <li>新プラント稼働により固定費増加(イクロステップ™)</li> </ul>	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)



### 3-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ: コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

	24年度予想/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・値上げによる交易条件改善</li> <li>・23年度の在庫評価損解消</li> <li>・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> </ul>	交易条件(+) 在庫(+) 固定費(Δ)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・値上げによる交易条件改善</li> <li>・原料価格上昇に伴う在庫評価益</li> <li>・事業構造改善による収益改善</li> <li>・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> <li>・持分法投資損益の減少</li> </ul>	交易条件(+) 在庫(+) 構造改善(+) 固定費(Δ) 持分法(Δ)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> </ul>	固定費(Δ)



(単位：億円)

セグメント	23年度	24年度			増減 (b-a)	3Q⇒4Q
	下期決算	3Q決算 (a)	4Q予想 (b)	下期予想 (a+b)		
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	188	52	151	203	99	農薬 季節差、3Qから4Qへの出荷時期ずれ等
モビリティソリューション	308	151	111	262	△ 40	PPコンパウンド 原料価格変動による価格改定等
ICソリューション	107	80	90	170	10	半導体市場の需要回復等
成長領域	603	283	352	635	69	
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	△ 29	△ 47	△ 27	△ 74	20	在庫評価損益(+)、持分法(+)、賦課金(△)
その他	△ 32	△ 6	△ 33	△ 39	△ 27	
合計	542	230	292	522	62	

## 5) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

摘要	23年度決算	24年度予想	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,613	1,900	287
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 1,239	△ 1,750	△ 511
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	374	150	△ 224
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 260	△ 470	△ 210
IV. その他	126	△ 50	△ 176
現金及び現金同等物増減	240	△ 370	△ 610

## 3. 補助資料

---

- 1) 製品価格の状況
- 2) 売上収益の増減概要
- 3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）
- 4) セグメント情報
- 5) データハイライト

# 1) 製品価格の状況

(PE国内、PP国内、PH国内、BPA国内：国内価格改定幅)

年		2022年				2023年				2024年			
月		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
国産標準 リジ価格	(円/KL)	64,600	86,100	81,400	72,500	66,500	67,500	63,600	72,800	72,500	79,000	76,900	73,200
PE国内	(円/KG)	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度	△6円 程度	+20円 程度	△3円 程度	+22円 程度	△5円程度	△7円程度
PP国内	(円/KG)	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度	△6円 程度	+20円 程度	△3円 程度	+22円 程度	△5円程度	△7円程度
PH国内 (フオミリジ価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$1,030	\$1,230	\$1,120	\$880	\$930	\$940	\$870	\$950	\$995	\$1,085	\$1,040	\$930
BPA国内	(円/KG)	+20円 (3月~)	+32円(4月~) +38円(6月~)	→	△14円 (12月~)	△17円 (3月~)	+16円 (6月~)	→	→	→	+19円 (6月~)	→	△14円 (10月~)
BZ/BPA市況をベースに都度交渉													
BPA 中国市況	(\$/T)	\$2,340	\$2,060	\$1,580	\$1,450	\$1,300	\$1,250	\$1,260	\$1,280	\$1,260	\$1,310	\$1,320	\$1,250
PTA 中国市況	(\$/T)	\$830	\$950	\$840	\$760	\$780	\$800	\$790	\$750	\$770	\$770	\$710	\$630
PX (*ACP)	(\$/T)	\$1,090	\$1,260	\$1,090	\$980	\$1,030	\$1,030	\$1,070	\$1,010	\$1,030	\$1,040	\$940	\$840
TDI 中国市況	(\$/T)	\$2,610	\$2,770	\$2,320	\$2,410	\$2,430	\$2,190	\$2,060	\$1,950	\$1,920	\$1,950	\$1,880	\$1,750

\* ACP アジア圏契約価格

## 2) 売上収益の増減概要

(単位：億円)

セグメント	売上収益			増減内訳		主要増減要因
	23年度 1-3Q	24年度 1-3Q	増減	数量差	価格差	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	1,886	2,065	179	130	49	数量) ビジョンケア及び農薬の販売は堅調 価格) 為替影響等
モビリティソリューション	3,984	4,278	294	195	99	数量) エラストマーの販売は堅調 価格) 為替影響等
ICTソリューション	1,934	1,647	△ 287	△ 341	54	数量) 三井化学東セロ株式分割及び一部株式譲渡の影響 価格) 為替影響等
成長領域	7,804	7,990	186	△ 16	202	
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	4,832	5,288	456	△ 19	475	価格) 値上げ及び原料価格上昇による価格改定
その他	109	110	1	-	1	
合計	12,745	13,388	643	△ 35	678	

### 3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (四半期別)

(単位：億円)

セグメント	売上収益							
	23年度*				24年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	571	620	695	831	675	706	684	915
モビリティソリューション	1,274	1,339	1,371	1,456	1,439	1,403	1,436	1,462
ICT ソリューション	630	619	685	660	538	560	549	643
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	1,566	1,540	1,726	1,767	1,808	1,702	1,778	1,812
その他の	38	40	31	38	35	38	37	30
合計	4,079	4,158	4,508	4,752	4,495	4,409	4,484	4,862

(単位：億円)

セグメント	コア営業利益							
	23年度*				24年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	45	67	73	115	58	99	52	151
モビリティソリューション	123	146	141	167	157	131	151	111
ICT ソリューション	58	71	70	37	60	60	80	90
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	△ 10	△ 77	30	△ 59	40	△ 66	△ 47	△ 27
その他の	△ 7	4	△ 10	△ 22	△ 13	2	△ 6	△ 33
合計	209	211	304	238	302	226	230	292

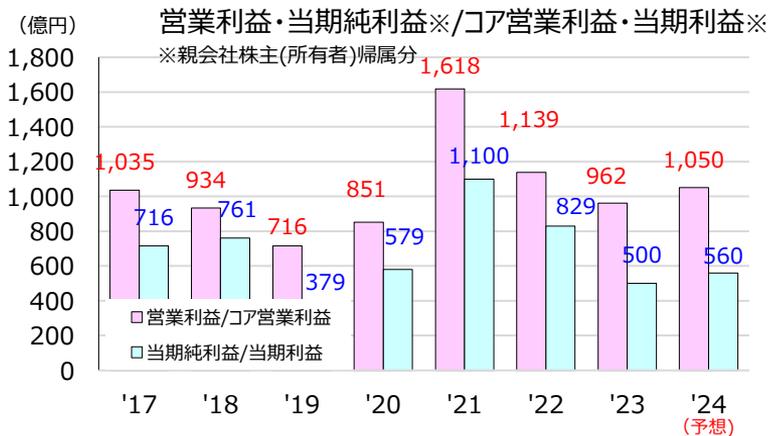
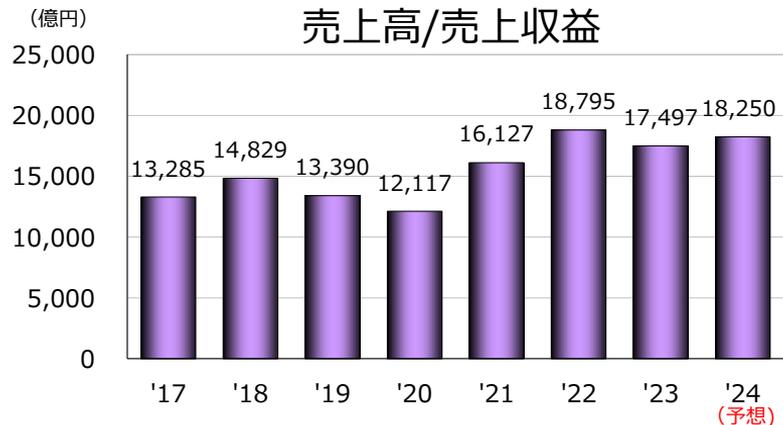
\*24年度より、ICTソリューションおよびベーシック&グリーン・マテリアルズの一部の関係会社のセグメントを見直しております。  
 変更後の報告セグメントで区分した四半期別の23年度の売上収益/コア営業利益となります。

## 4) セグメント情報

セグメント*	事業分野	主な製品等
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、パーソナルケア、不織布、オーラルケア、農薬、医療事業推進室	プラスチックメガネレンズ材料 (MR™、Do Green™)、 医療材料 (タウリン)、 不織布 (衛生材料、工業資材)、 オーラルケア材料 (充填材料、接着材料、デジタル機器)、 農薬 (ジノテフラン、テネベナール®)
モビリティソリューション	エラストマー重合、複合材料、ソリューション事業、モビリティソリューション事業推進室	タフマー®、三井EPT™、ルーカント®、 PPコンパウンド、機能性コンパウンド (アドマー®、ミラストマー®、アーレン®)  
ICTソリューション	半導体・光学、コーティング機能材、機能性フィルム・シート、ICT材料事業推進室	三井ベリクル™ (DUV、EUV、FPD)、アペル®、TPX®、半導体用ガス、 高機能食品包装材料 (シーラント、接着剤、コート剤、環境対応包材)、 産業用フィルム (イクロステープ™、SP-PET™)
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	フェノール、PTA・PET、インダストリアルケミカルズ、サステナブル・フィードストック、ポリオレフィン、ライセンス、ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業	フェノール、ビスフェノールA、アセトン、PTA、PET、 EO、ハイドロキノン、アンモニア、排ガス低減剤 (アドブルー®*)、 ポリオレフィン、TDI、MDI  *アドブルーはドイツ自動車工業会の登録商標です。

# 5-1) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS



注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

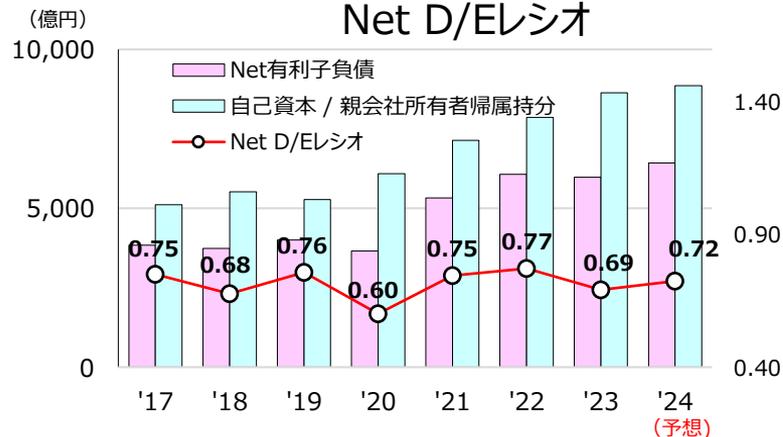
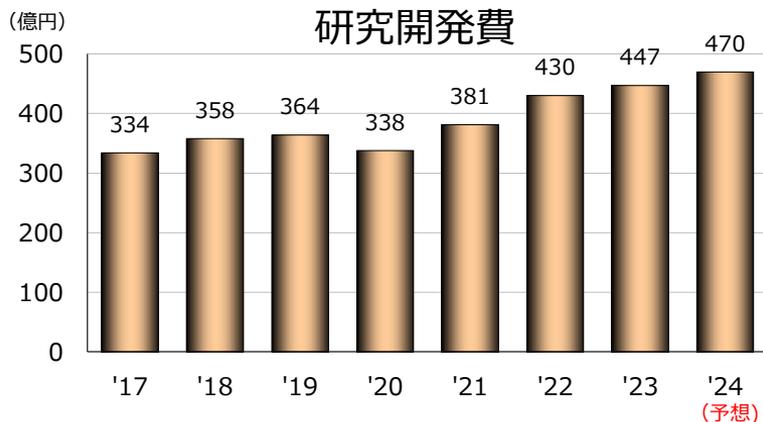


\*1. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

\*2. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む



\*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む



未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World



三井化学

*Challenge Diversity One Team*